

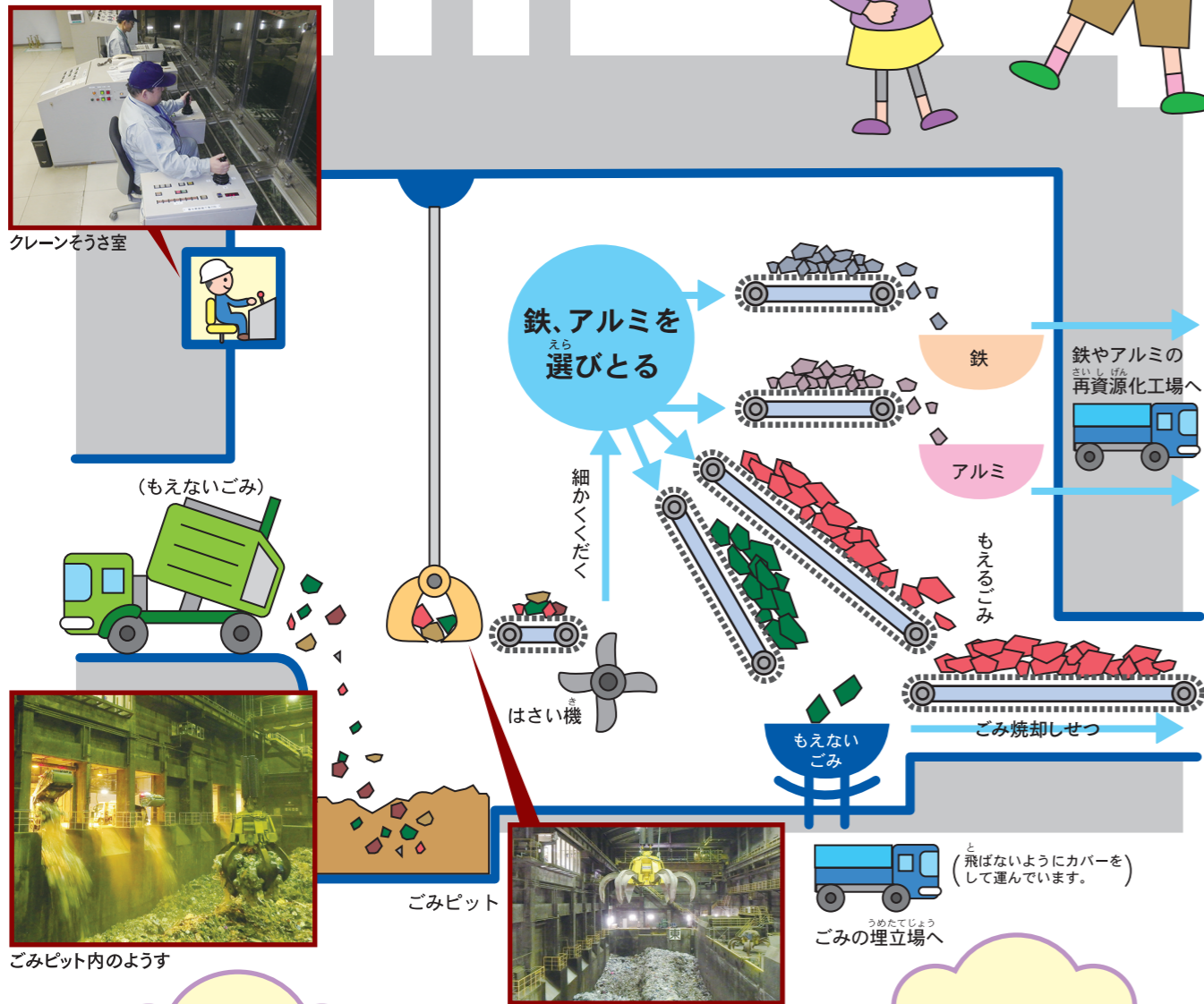
2 資源化センター

もえないごみを、
はさい機で細かくくだいて
鉄、アルミをえら
びとるしせつ



しげんか
資源化センター

しげんか
資源化センターは
どうなっているのかな？



もえないごみは
しげんか
資源化センターで
細かくくだかれて
さらに分けられるんだね。



もえないごみから
鉄やアルミをえら
びとるしせつ
再資源化工場に
運ぶんだね。



★資源化センターでは、鉄やアルミなどの資源を回収し有効利用していることに気付かせてください。
●公害を防ぐ工夫…資源化センターでは、粉じん・振動・騒音について、厳しい基準のもとに公害防止装置を設置し、万全な対策を施しています。

3 埋立場

工場などから出るもえかす(灰)や、資源化センターで
細かくくだかれて分けられたもえないごみなどを
うめたてしよぶん
埋立場(最終処分場)

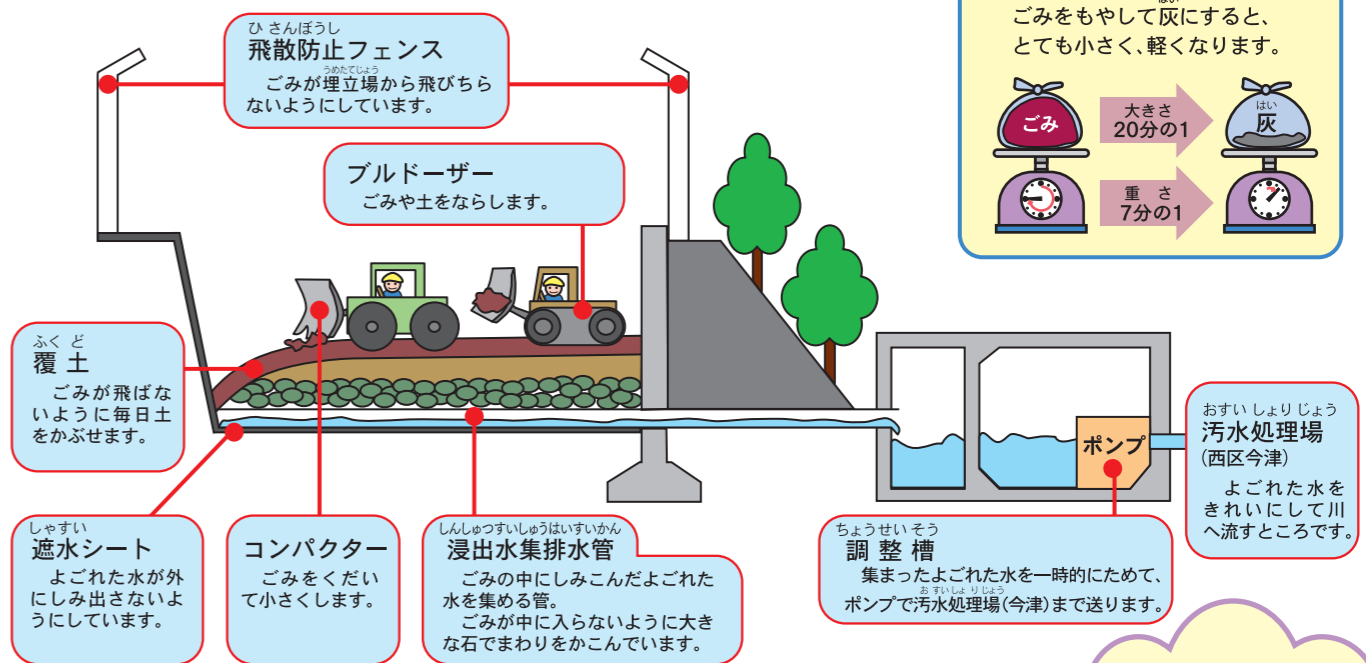


うめたてしよぶん
埋立場(最終処分場)

細かいごみが
飛びちらないように、
とても気を付けているよ。



西部埋立場のしくみ



ごみがもやされると…
ごみをもやして灰にすると、
とても小さく、軽くなります。
大きさ 20分の1
重さ 7分の1

「福岡方式」で世界に貢献!

福岡市の埋立場には「福岡方式」という技術がつかわれています。これは福岡市と福岡大学が協力して開発した技術で、いまでは日本の埋立場をつくるときの基準となっています。
福岡方式で埋め立てると、地球温暖化の原因となるガスの発生をおさえたり、埋め立てが終わったあとの土地を早く使うことができます。
また、アジアを中心とした海外にもこの技術を広めており、海外でのごみ処理に貢献しています。



海外で福岡方式を利用して埋立場をつくる様子

福岡で
開発された技術が
日本や海外で
役立っているんだね!



ごみ処理に貢献しています



●「福岡方式」は環境に優しい技術として、海外からも注目されており、これまでに約70か国以上から5,900人を超える方が、福岡市の埋立場等を見学しています。
●昭和48年から3年間にわたって福岡市と福岡大学が共同で実施した久山埋立場の大規模実験の結果を踏まえ、準好気性埋立構造の基本概念が福岡大学により提案され、昭和50年に建設した新蒲田埋立場で実用化に成功しました。